

北海道PTA連合会

226号

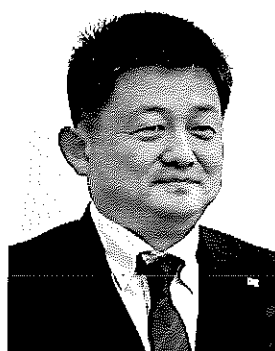


会 報

札幌市中央区北1条西3丁目 S T V時計台通ビル6階／TEL(011)-251-6937 FAX(011)210-0929 <http://www.hokkaido-pta.jp>

PTA活動の必要性を再確認できること

北海道PTA連合会 会長 廣瀬 堅 一



令和7年度に引き続き今年度も北海道PTA連合会の会長を務めることになりました、小樽市PTA連合会の廣瀬堅一と申します。全道各地のPTA会員の皆様はじめ、関係機関・団体の皆様におかれましては、日頃より北海道PTA連合会に対しまして、ご理解・ご協力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、日本中でPTAの存在についてさまざまな意見がみられるようになってから数年経ちました。私はPTA活動に長年かわらせてもらいましたが、今回改めてPTAというものについて振り返ってみました。PTAは戦後アメリカの教育使節団によってPTAの設立と普及を推奨する方針が掲げられ、文部省がPTAの指導、支援を行ったことにより広まったとのこと。文部省が作成したPTA結成手引書には、

「PTAの趣旨は、子どもたちが正しく健やかに育っていくには、家庭と学校と社会とが、その教育の責任を分けあい、力を合わせて子どもたちの幸せのために努力していくことが大切である。」と書かれていたそうです。この文は今から約80年前に書かれたものですが、今読んでみても何の違和感もありません。それどころか、子どもに関することは何でも学校という風潮があったときのことを振り返ると、現在の世の中でこそ至極当たり前のことをいっているように思います。そのような存在であるはずのPTAをいらないとする話がでてくる理由を考えてみました。それは、役員の押しつけや強制、保護者が仕事と家事と育児を行うことによる多忙化など、PTAが保護者を苦しめるような状況があちこちで起きたためと考えられます。そのため、PTAを解散した学校も見られるようになりました。では解散した学校はその後どうしたのでしょうか。親だけの会をつくったり、その場で必要なときに声をかけて活動したりするようになっていったようです。確かに子どものための活動ができていかもしれませんが、先生方の働き方改革になったように見えるかもしれません。しかし、先生方と保護者、保護者同士の距離ができてしまいコミュニケーションがとりづらいことで、問題が解決しなかったり学びあう機会がなくなったりなどの課題や問題点ができてきているように思います。

解散して新たに別なものを創るのがすっきりするかもしれませんが、趣旨が変わらないのであれば、みんなが受け入れやすくやりがいいがあって少しでも楽しめるような工夫をしていったほうが、つながりを切ることもなくPTAの存在を活かすには早く対応できるように思います。

北海道PTA連合会としては、PTAを改革したり工夫したりしたことで、先生方と保護者が協力して意欲的に活動でき、結論として子どもが安心して楽しく生活できるようになったというような実践を学び、自分たちのためのPTAを創り出す取組を支援できるようにしていきたいと思っています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年度の北海道PTA連合会の活動がスタート！

6月6日(土)、全道各地区の代議員出席のもと、北海道PTA安全互助会総会と道P連総会が開催され、令和8年度の北海道PTA連合会(道P連)の活動がスタートしました。

北海道PTA安全互助会総会では、東京海上日動火災株式会社札幌支店金融公務チームのセクションチーフである大和田亮太様よりご挨拶をいただいた後、令和7年度の事業報告、決算報告、監査報告、令和8年度の事業計画案、会計予算案について審議が行われ提案通り承認されました。

引き続き、北海道PTA連合会総会が開催されました。会長として2年目となる廣瀬堅一氏が冒頭に挨拶しました。その後ご来賓を代表して、北海道教育委員会教育長である中島俊明様よりご祝辞をいただきました。また、北海道小学校校長会会長の稲上敏男様、北海道中学校校長会会長の前田真志様、札幌市PTA協議会会長の高原周作様にご臨席を賜りました。

議事では、令和7年度の会務・事業活動、会計決算の報告、令和8年度の事業計画案、会計予算案等について審議され、多くの質問や意見をいただき、採決の結果全て報告や提案の通り承認されました。

役員改選では、廣瀬堅一氏が会長に選出されるとともに、10名の副会長、3名の監査が選出されました。

総会の最後には、2団体と個人6名に対し、北海道PTA連合会会長表彰が行われました。



令和8年度 北海道PTA連合会役員(敬称略)

役 職	氏 名	所 属
会 長	廣 瀬 堅 一	1 ブロック 小樽市P連
副 会 長	漆 崇 博	1 ブロック 石狩管内P連
	伊 藤 弘 喜	2 ブロック 稚内市連P
	秋 山 慎一郎	3 ブロック 函館市P連
	升 田 英 伸	4 ブロック 日高地区P連
	川 本 学	5 ブロック 釧路市P連
	高 橋 梨 絵	会長指名 小樽市P連
	鎌 本 かおり	会長指名 旭川市P連
	幕 田 優 祐	会長指名 日高地区P連
	山 谷 潤	北海道小学校長会
	富士原 孝 浩	北海道中学校長会

令和8年度 道P連監査・教師代表委員(敬称略)

監 査	白 木 章 紘	2 ブロック	稚内市連P
	菅 原 麗 子	3 ブロック	函館市P連
	高 橋 英 樹	4 ブロック	日高地区P連
教 師 代 表 委 員	杉 原 大 樹	組織・教育	北 広 島 市
	脇 本 麻友美	子 育 て	小 樽 市

事務局

事 務 局 長	城 野 文 久	札幌市中央区北1条西3丁目STV時計台通ビル6階 TEL 011-251-6937 (北海道PTA連合会) TEL 011-221-7680 (北海道PTA安全互助会) FAX 011-210-0929 Eメール info@hokkaido-pta.jp
事 務 局 次 長	出 村 好 孝	
事 務 局 次 長	椿 野 次 雄	
事 務 局 次 長	山 村 健 史	

令和8年度北海道PTA連合会 ～基本方針～

PTAの目的は家庭・学校・地域がお互いに支え合い、子どもたち一人一人の健全な成長をはかっていくことであり、そのためにも会員が共に理解を深め合いながら活動を進めることが大切です。

PTAそのものに対する考え方も多様化していますが、PTAの役割と存在意義をPTAの活動から会員の皆様に「見える・分かる」ように努めるために次の4点を基本方針として活動を推進します。

- 家庭教育及びPTA活動の資質向上に資する研究大会や研修活動などの充実をとoshi、豊かな心をもった子どもの育成に努めます。
- 本道の教育振興のために、関係団体や地区P連・市町村P連・単Pと緊密な連携を図り、道P連事業の充実と教育課題の解決に努めます。
- 家庭・学校・地域、そして目的を同じくする他の団体及び行政との連携・協働を進め、子どもたちを取り巻く教育・生活環境の改善に努めます。
- ウェルビーイングの実現と持続可能な社会の実現を目指し、私たち自らが意識改革・行動変革に積極的に向かいます。

令和8年度の活動の基本は以下の4点が挙げられます。

- (1) 子どもたちの健全な成長を図るため、北海道ブロックPTA協議会研究大会はじめ、各地区P連や市町村P連、単Pの各種研究大会や研修会をとoshite、会員一人一人が研鑽を積み、互いに学び合い高め合うことが大切です。実践事例の交流を通し、組織的な研究をすすめることで、研修活動の充実を図ります。
- (2) 地区P連をとoshite、市町村P連・単Pとの情報の共有化を図り、道P連事業の充実と円滑な運営を進めながら、地区P連・市町村P連・単Pの活動の活性化を図っていくことが大切です。また諸課題についての実態把握を行うとともに、「PTAに求められていることは何か、何ができるか、何をしなければならないか」を考え、行動していきます。
- (3) 理事会や地区事務局長会、委員会などにおいて各地区P連の情報交流や「会報」「委員会だより」「道P連HP」などを通して、情報の共有化に向けた取組を充実させていきます。
- (4) 子どもたちの健全な育成を図っていくために、家庭・学校・地域・行政・教育関係諸団体との連携・協働を更にすすめて、子どもたちを取り巻く様々な課題の解決や教育・生活環境の整備・改善に結びつくよう、活動を進めていきます。

R 8 年度の各委員会の取組

【組織・教育委員会】

1 研究テーマ 「ともに学び高め合う P T A 活動や組織はどうあればよいか」

～心豊かな共育をめざす組織と活動の推進～

2 研究の視点

この委員会は構成が地区理事、つまり地区 P 連の会長が構成員であることから、組織構築や組織運営について「魅力ある活力に満ちた P T A」を大前提として、演繹法的な手法に基づいて委員会をすすめていく。その際、次のことを視点として議論を展開していく。

○持続可能な P T A 組織、P T A 活動

○学校・家庭・地域の連携、協働活動

また議論の手助けとして、次のことを話題に取り上げていく。

*子どもの生活習慣や心を育てる活動

*子どもが安心してすごせる安全な地域づくり

3 研究の内容

1. 令和10年度全道大会推薦提言についての見通し
2. 持続可能で魅力ある P T A の組織や活動についての討議
3. すぐれた P T A 活動や日常実践の集積と共有
4. 地域やコミュニティスクールと P T A の効果的な関係性の模索
5. 会員が積極的に参加したくなる P T A 活動のあり方

【子育て委員会】

1 研究テーマ 「豊かな心をもった子どもを育てる保護者のあり方はどういうものか」

～誇りをもって子育てし、保護者自身も喜びを感じながら輝くこと～

2 研究の視点

この委員会の構成は地区 P 連の子育て担当や活動をすすめる中心の人であることから、保護者が輝く活動や家庭教育の実践を交流し、それを集積したものを共有し学び合うという帰納法的な手法に基づいて委員会をすすめていく。その際、次のことを視点として議論を展開していく。

○P T A 活動をもとに保護者が輝く実践

○「生きる力」を育てる家庭教育の実践

また議論の手助けとして、次のことを話題に取り上げていく。

*保護者が学んでみたい、輝きたいと思えること

*家庭・地域・学校が連携した家庭教育のあり方

3 研究の内容

1. 令和9年度全道大会での委員会推薦提言についての討議
2. P T A 活動への困り感の解消についての討議
3. 地区研究大会や子育て研の交流と共有
4. 保護者が輝くために学ぶことの重要性とその実際
5. P T A の取組を会員に伝える方法や効果的な伝え方

令和8年度 地区PTA研究大会・子育て研修会実施計画

令和8年6月6日現在

ブロック	No.	地区名	地区研究大会		地区子育て研修会		開催 形態
			開催日	開催地	開催日	開催地	
1	1	石 狩	11月14日(土)	北広島市 夢プラザ	地区研究大会と同日同内容		同同
	2	小樽市	10月22日(木)	小樽マリンホール	9月5日(土)	小樽いなきたコミセン	別
	3	後 志	8月31日(月)	積丹町	地区研究大会と同日同内容		同同
2	4	上川北部	8月22日(土)	美深町文化会館 COM100	地区研究大会と同日同内容		同同
	5	旭川市	11月8日(日)	クリスタルホール	9月6日(日)	神楽公民館	別
	6	上川南部	11月6日(金)	愛別町	8月中旬	オンライン開催	別
	7	稚内市	6月28日(日)	育英館大学講堂	地区研究大会と同日同内容		同同
	8	宗 谷	11月15日(日)	ハイブリッド開催	地区研究大会と同日同内容		同同
	9	留 萌	9～10月	留萌市 (ハイブリッド開催)	地区研究大会と同日同内容		同同
3	10	函館市	10月10・11日(土・日)	全道研究大会主管 (函館市)	全道研究大会と同日同内容		同同
	11	渡 島	10月10・11日(土・日)	全道研究大会主管 (函館市)	全道研究大会と同日同内容		同同
	12	檜 山	10月10・11日(土・日)	全道研究大会主管 (函館市)	全道研究大会と同日同内容		同同
4	13	南空知	11月3日(火)	月形町	地区研究大会と同日同内容		同同
	14	北空知	11月14日(土)	秩父別町 秩父別学園	11月14日(土)	秩父別町 秩父別学園	同別
	15	胆振東部	今年度は実施せず (R10 全道大会にむけ)		地区研究大会と同じ扱い		同同
	16	胆振西部	11月6日(金)	豊浦地域交流センターとわにー	地区研究大会と同日同内容		同同
	17	日 高	11月7日(土)	様似町中央公民館	地区研究大会と同日同内容		同同
5	18	オホーツク 東 部	10月3日(土)	網走市エコホール	地区研究大会と同日同内容		同同
	19	オホーツク 中 部	10月4日(日)	北見市 (Nicc 芸文ホール)	11月21日(土)	佐呂間町町民センター	別
	20	オホーツク 西 部	10月31日(土)	雄武町 町民センター	地区研究大会と同日同内容		同同
	21	帯広市	11月8日(日)	とかちプラザ	地区研究大会と同日同内容		同同
	22	十 勝	7月20日(月)	鹿追町 町民ホール	地区研究大会と同日同内容		同同
	23	釧路市	10月27日(火)	城山小学校	未定	未定	別
	24	釧 路	11月15日(日)	白糠町立庶路学園	地区研究大会と同日同内容		同同
	25	根 室	9月12日(土)	根室市	地区研究大会と同日同内容		同同

※地区研究大会と子育て研修会形態 *同日・同内容 (同同) *同日・別内容 (同別)
 *別日・別内容 (別) *同日・内容検討 (同検)

令和7年度 各地区研究大会・子育て研修会の紹介

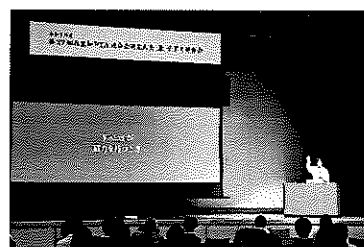
(敬称略)

「一冊の本との出会いで人生は変わる」

北空知PTA連合会

令和7年11月8日(土)に沼田町民会館を会場として、北空知地区PTA連合会研究大会兼子育て研修会を開催しました。研究大会には、ベストセラー作家の喜多川泰様(株式会社L&Rヴィレッジ)を講師にお招きし、上記のテーマのもと、読書の習慣がなぜ人生を豊かにするのかについて、ご講話いただきました。子どもだけではなく、大人である保護者も読書離れが進む中、改めて「読書習慣の必要性」を学ぶ大変貴重な時間となりました。参加者の方々からも、事後アンケートで大変好評だった旨をお伝えいただきました。特に「1日の1%(約15分)を変える(読書に費やす)だけでも、人生は大きく変わる」というお話が、多くの方々の感銘を受けたということでした。今回の講演がきっかけで、読書の習慣が身に付く方が一人でも増えればと願っています。

また、研究大会の前段の子育て研修会では、北海道教育庁空知教育局から、社会教育主事の斉藤萌様を講師にお招きし、「子どもの望ましい生活習慣とデジタル技術とのよりよい付き合い方」というテーマで、子育てをする上で大切な食習慣の在り方や、闇バイトの危険性について、動画を交えながら、分かりやすくご講話をいただきました。参加者からは「先生の子育てに関する実体験を交えてのお話に、共感しながら傾聴させて頂きました。」という感想をお寄せいただきました。



大会当日は気温が下がり、降雪も見られるような天候でしたが、担当のPTA役員・会員の皆様の運営への温かいご協力のお陰で、約200名の参加者が集まり、大盛況の中、研究大会を閉会することができました。

今後も、保護者の方々が子育てにおいて抱える課題やニーズに応えられるような形で、研究大会、研修会を開催できるように目指します。

(文責 前北空知地区PTA連合会事務局 西木洋人)

「オホーツクの大地で育む、心豊かでたくましい子どもたち」

オホーツク西部地区PTA連合会



闇バイトの仕組みを説明する岩井氏

令和7年9月21日(土)に湧別町文化センターさざ波を会場に、オホーツク西部地区PTA連合会研究大会を開催いたしました。本大会では、北海道教育庁オホーツク教育局からの情報提供に続き、「誰も教えてくれないインターネット・SNSの仕組みと現状～ネットに潜む危険性と心構え～」と題して、(有)イワイ代表取締役の岩井孝浩氏にご講演いただきました。講演では、インターネットやSNSの仕組み、スマホ常用による健康や学力への影響、誹謗中傷や闇バイトなどのリスクについて、具体例とともに分かりやすく解説していただきました。匿名性の限界やデータ追跡の実態が示され、利便性と危険性の両面を理解し、ルールと教育で安全な利用を促す重要性を再認識する、大変有意義な講演会となりました。参加者からは、SNSやスマホに潜む危険について実際の例を通して理解が深まったとの声があがり、発信の責任を意識する大切さを学び、家庭でのルールづくりや相談の仕組みづくりの必要性を共有することができました。学校と地域が協力して子どもを守る確かな方向性が見えてきました。予測不能な社会において、AIや闇バイトなど新しいネット犯罪への対応力を高め、続けて学ぶ機会をつくることが必要であり、まさにタイムリーなテーマであったと思います。PTA活動は時代に合わせて様々な移り変わりをしていますが、これからの活動においても、ニーズをキャッチし、それに応えるべくPTA活動の展開や研修会の開催を目指すとともに、家庭と学校が一緒に子どもたちのネットモラルを育てる教育を進めていきたいと思ひます。

(文責 前オホーツク西部地区PTA連合会事務局次長 宮崎純信)

第73回 北海道ブロックPTA協議会研究大会 道南大会

- 1 開催期日 8年10月10日(土)～11日(日)
- 2 会 場 【第1日目 分科会・懇親交換会】・函館サーモン・まるなまアリーナ(旧函館アリーナ)(函館市湯川町1-32-2)
・函館サーモン・まるなまホール(旧函館市民会館)(函館市湯川町1-32-1)
(予定) ・大中山コモン(亀田郡七飯町大中山3丁目275番2号)
・ホテル函館ロイヤルシーサイド(函館市大森町16-9)
【第2日目 全体会】 ・函館サーモン・まるなまホール(旧函館市民会館)(函館市湯川町1-32-1)
- 3 主 催 北海道ブロックPTA協議会(北海道PTA連合会・札幌市PTA協議会)
- 4 主 管 函館市PTA連合会 渡島PTA連合会 檜山PTA連合会
- 5 後 援 公益社団法人日本PTA全国協議会 文部科学省 北海道 渡島総合振興局内各市町 檜山振興局内各町
北海道教育委員会 渡島総合振興局内各市町教育委員会 檜山振興局内各町教育委員会
北海道小学校長会 北海道中学校長会 函館市小学校長会 函館市中学校長会 渡島小中学校会 檜山校長会
(予定) 渡島総合振興局内各市町校長会 檜山振興局内各町校長会 北海道公立学校教頭会 函館市小学校教頭会
函館市中学校教頭会 渡島公立学校教頭会 檜山教頭会 渡島総合振興局内各市町教頭会
檜山振興局内各町教頭会 公益社団法人日本教育会
- 6 参加者 道内PTA会員ならびに教育関係者 600名程度(予定)
- 7 参加費 5,000円(懇親交換会は別途5,000円:軽食立食形式)
- 8 大会スローガン 「親も子も笑顔になれる学びと子育てのみちしるべ」
～ 過去から受け継ぎ 今を楽しみ 未来を語ろう ～
- 9 大会主題 「親と子どもの豊かな成長を目指して」
- 10 大会日程(予定)
- 第1日目 10月10日(土) 運営打ち合わせ会議・分科会・情報交換会
- | | | | | | | |
|------------|----------------------|-------|-------------|-------|-----------------|-------|
| 10:50 | 11:00 | 12:20 | 12:50 | 15:30 | 17:30 | 18:45 |
| 運営者
受 付 | 運営打ち合わせ会議
(分科会ごと) | 受付 | 開 会 式・分 科 会 | 移動 | 情報交換会
(立食形式) | |
- 第2日目 10月11日(日) 全体会・講演会
- | | | | | |
|---------------------|------|-------|-------|-------|
| 9:10 | 9:20 | 10:05 | 11:45 | 12:15 |
| 受付
ｽﾏｰﾄﾞ ﾏﾞﾗﾌ 上映 | 全体会 | 記念講演 | 閉会行事 | |
- 11 記念講演 講師 ソガ 直人(音楽グループひのき屋代表 はこだて国際民族芸術祭芸術監督 株式会社ヒトココチ代表取締役)
演題 「そこいらじゅうに楽しさがころがる街の生活をつくる ～ぼくらの突破経験物語～」
- 12 分科会テーマ

領 域	分科会テーマ	担 当
第1分科会 組織・運営	OBI-P STYLE の実践	帯広市PTA連合会
第2分科会 家庭教育と情報	「情報化社会におけるPTAの取り組みと家庭教育のあり方」	札幌市中央区PTA連合会
第3分科会 地域連携 学校支援	地域とともに共創するPTA活動～オレンジカフェとの連携	弟子屈町立弟子屈中学校PTA
第4分科会 食育	「食育」で子どもたちの生きる力を育てる	札幌市西区PTA連合会
特1分科会 中学生討論会	中学生の思い、大人の思い	函館市PTA連合会
特2分科会 防災教育	体験しよう!命を守る防災教室	函館市PTA連合会

北海道PTA安全互助会制度の補償内容について

■以下の事故の場合に見舞金が出ます。事故が発生したら、速やかに事故報告をしましょう。

＜園児・児童・生徒（学校管理下外）傷害補償＞学校の管理下外でのケガおよび死亡の見舞金

- ・登下校中やご自宅でのケガ
- ・スポーツ（少年団活動を含む）でのケガ
- ・自転車で転倒した際のケガ
- ・授業のない日の部活動中のケガ

※園児・児童・生徒傷害補償の場合は、学校管理下外での事故に限ります

＜PTA（活動中）傷害補償＞PTA主催行事で起きたケガおよび死亡の見舞金

- ・スポーツ行事や学年、学級レクでのケガ
- ・研修活動中のケガ

＜賠償責任補償（PTA）＞PTA活動中の賠償責任を補償します

- ・PTA主催のお祭りで、PTA役員の誘導ミスにより来場者がケガをした

＜賠償責任補償（PTA+子ども24時間）＞園児・児童・生徒の賠償責任を24時間補償します

- ・児童が自転車で通行人に衝突し、通行人がケガをした

■未加入校はぜひご加入をお願いします。毎月1日を始期としてご加入いただけます。

子どもたちの学校以外での活動やPTA行事に安心して参加できるように、

補償内容等をご理解のうえ、ぜひご加入いただくようお願いいたします。

＜会費＞

【園児・児童・生徒（学校管理下外）傷害補償】	被保険者1人につき	400円（1年間）
【PTA（活動中）傷害補償】	1世帯につき	195円（1年間）
【賠償責任補償（PTA）】	被保険者1人につき	18円（1年間）
【賠償責任補償（PTA+子ども24時間）】	被保険者1人につき	400円（1年間）

新たに加入を希望される場合は、北海道PTA安全互助会までご連絡ください（☎011-221-7680）

北海道PTA連合会
令和8年度

小・中学生総合補償制度

（団体総合生活保険）

子どもたちの笑顔あふれる活発な日常をお守りする「もしも」の際の「備え」です！

- ◆各学校でご加入いただく北海道PTA安全互助会制度の上乗せ補償として、各ご家庭で任意加入いただける制度をご用意しています。
- ◆学校内外を問わず、様々な危険から24時間、お子さまをお守りします。
- ◆本制度は年1度の募集で、令和8年度の募集は5月末をもって終了しております。
あらかじめご了承ください。
- ◆詳細な補償内容や申込手続き方法は、例年4月に各学校で配布されるパンフレットや北海道PTA連合会のホームページ（https://www.hokkaido-pta.jp/mutual_aid/compensation/）からご確認下さい。

【お問い合わせ先】

株式会社東京海上日動パートナーズ北海道 札幌支店
札幌市中央区北1条西3丁目 STV時計台通ビル6F
☎011-232-0701（受付時間／平日9時～17時）

【引受保険会社（担当課）】

東京海上日動火災保険株式会社札幌支店金融公務チーム
札幌市中央区大通西3-7 北洋大通センター17階
☎011-271-7285（受付時間／平日9時～17時）